



特集

地域をもっと良くしたい

鶴岡市過疎地域集落対策事業

人口減少や少子高齢化の進行に伴い、本市の中山間地域でも、集落としての機能や活力の低下が心配されています。そのような中で、集落の将来像を住民同士が話し合い「もっと地域を良くしよう」という熱意と創意工夫によって、地域づくり活動が行われています。

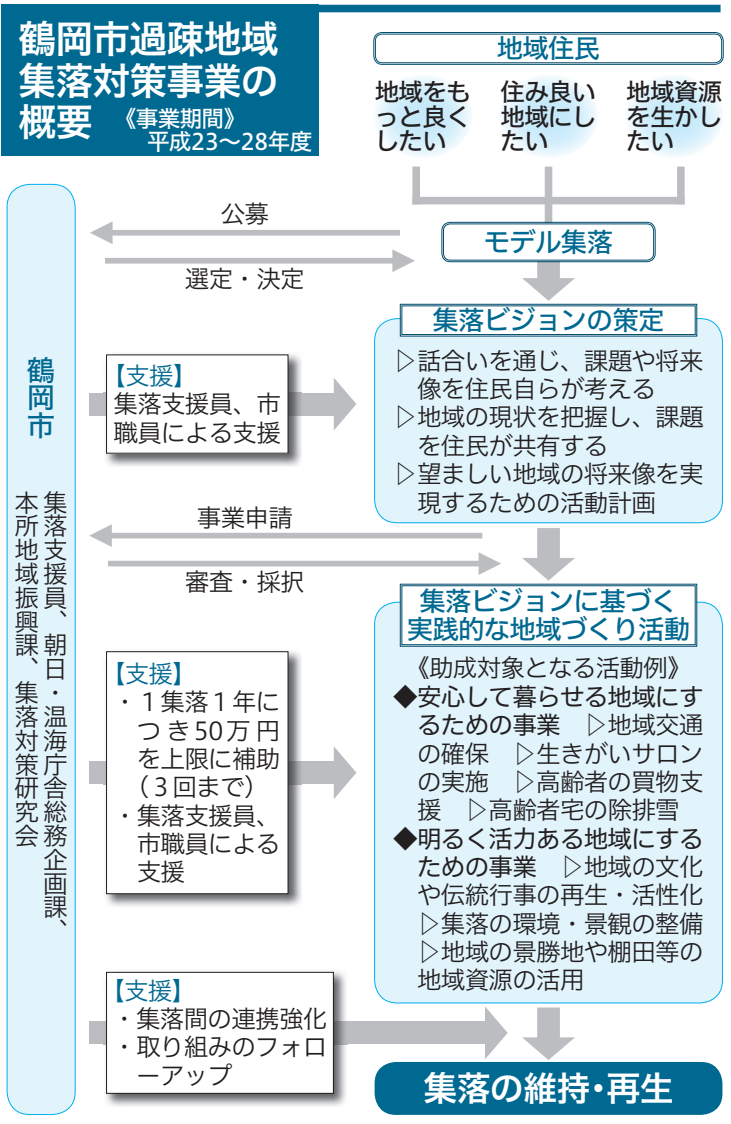
◎問合せ 本所地域振興課 ☎25・2111 内線585

過疎地域集落の課題

「過疎地域」とは、過疎地域自立促進特別措置法において「人口の著しい減少に伴って地域社会における活力が低下し、生産機能及び生活環境の整備等が他の地域に比較して低位にある地域」と規定された法で定める特定の期間の人口要件と財政力要件に該当する市町村の区域をいいます。山形県内では、本市を含む二十一市町村が過疎地域とされて

鶴岡市過疎地域集落対策事業の概要

《事業期間》平成23～28年度



本市の対策事業

本市では、平成二十二年に策定した鶴岡市過疎地域自立促進計画に基づき、集落対策事業に取り組んでいます。

います。特に中山間の集落では小規模化が進んでおり、耕作放棄地の増加や、生活必需品購入に不可欠な商店の廃業、路線バスの利便性低下等の課題を抱え、集落機能の低下や将来的な集落維持の困難化が心配されています。

朝日・温海の両地域に集落支援員を一人ずつ配置し、集落課題の整理や住民同士の話し合いを促進しながら、集落ビジョンの策定や、その実現に向けた実践事業への支援を行っています。また、二十五年には地域おこし協力隊制度を活用して、朝日地域大鳥地区に都市部の若者二人を地域の担い手として受け入れ、地域の中で暮らし、住民とともに地域おこしに取り組んでもらいながら、地域力の維持・強化を図っています。



【過疎地域集落対策事業活動報告会(1月24日・25日)】
 実践事業開始から3年が経過し、これまでの活動を振り返りながら、集落の維持・強化に向けた方策を考える報告会が朝日・温海地域で開催されました。

集落対策に取り組む団体の活動事例

集落ビジョンを策定し実践事業に取り組んでいる18集落16団体（朝日地域大鳥・上村・田麦俣・関谷・中村・下村、温海地域暮坪・安土・木野俣・小名部・楨代・山五十二川・峠ノ山・鍋倉・小国・関川）のうち、2例を紹介します。

朝日地域 大鳥

(松ヶ崎・寿岡・繁岡)
水とみどりに
育まれた
笑顔輝く山里

集落概要

鶴岡市の最南端。朝日連峰の登山口。3集落で構成。かつては大泉鉱山で繁栄した。市役所朝日庁舎から20km、市街地から30km以上離れている。大鳥自然の家やタキタロウ館、2軒の旅館・民宿があり、登山客や観光客が訪れている。

人口・世帯の推移

	世帯数	人口
昭和50年	175世帯	621人
平成26年	46世帯	85人
40年間増減	△73.7%	△86.3%
高齢化率		74.1%

集落ビジョンの概要

- ▷高齢者世帯の生活支援、高齢者見回り
- ▷コミュニティビジネスの立ち上げ
- ▷生きがいサロンの開設
- ▷交流と地域イベントの展開
- ▷農林産物の生産から販売までの仕組みづくり

取り組み内容

- ①交流イベント「大鳥川フェスタ」開催
- ②高齢者宅玄関前除雪
- ③生きがいサロン開催
- ④鉱山跡地、タキタロウ館周辺環境整備
- ⑤伝説の巨大魚「タキタロウ」調査
- ⑥大鳥の技「山の教室」開催



今後に向けて

- ▷地域おこし協力隊定住化への支援
- ▷コミュニティビジネスの事業展開
- ▷地域資源の情報発信

温海地域 木野俣

美しく住もうと
思って、初めて
美しい村が
できる

集落概要

温海地域福栄地区（5集落）の中心地。勤め人が多く、農地等が少ないため土地に対する意識（愛着）が薄い。生活が不便（雪、医療、バス、買物等）。福栄地区は、温海地域4地区の中で最も世帯と人口が減少している。

人口・世帯の推移

	世帯数	人口
昭和55年	97世帯	389人
平成26年	54世帯	171人
35年間増減	△44.3%	△56.0%
高齢化率		34.5%

集落ビジョンの概要

- ▷地域コミュニティの活性化
- ▷地域資源を活用した生きがいづくり
- ▷地域の暮らしを守る仕組みづくり（雪・健康・買物対策）
- ▷生活環境の整備（空き家対策、水路整備）

取り組み内容

- ①木野俣いきいき隊を結成
- ②年間のグリーンツーリズム計画策定
- ③集落共有採草地の再利用
- ④農産物の付加価値づくり
- ⑤休耕農地を活用したわらび栽培
- ⑥なめこ栽培用原木造成（なめこの種菌）



今後に向けて

- ▷地域おこし協力隊の受け入れ
- ▷若い人の目線で地域の見直し
- ▷地域の良さの再発見と自信の回復

策に取り組んでいきます。

いを引き続き支援し、集落対
すい地域にしよう」という思
もつと良くしたい」「住みや
住み続けられるよう「地域を
りを持ち続け、愛着を持って
は、市民が将来への希望と誇
いくことが重要です。本市で
の維持や活性化に取り組んで
も視野に入れ、住民、地域、
市が力を合わせて、集落機能
落が連携するネットワーク化
みを発展させながら、周辺集
望が連携するネットワーク化
も視野に入れ、住民、地域、
市が力を合わせて、集落機能
の維持や活性化に取り組んで
いくことが重要です。本市で
は、市民が将来への希望と誇
りを持ち続け、愛着を持って
住み続けられるよう「地域を
もつと良くしたい」「住みや
すい地域にしよう」という思
いを引き続き支援し、集落対
策に取り組んでいきます。

将来への 希望と誇りを

今後は、これまでの取り組
みを発展させながら、周辺集
望が連携するネットワーク化
も視野に入れ、住民、地域、
市が力を合わせて、集落機能
の維持や活性化に取り組んで
いくことが重要です。本市で
は、市民が将来への希望と誇
りを持ち続け、愛着を持って
住み続けられるよう「地域を
もつと良くしたい」「住みや
すい地域にしよう」という思
いを引き続き支援し、集落対
策に取り組んでいきます。

住民同士が話し合いを重ねる
過程は、問題意識の共有化が
図られるとともに、地域づく
りに対する連帯感や課題解決
に向けた気運の醸成が期待さ
れます。こうして集落ビジョ
ンを策定した集落は、最長三
年間交付される市の補助金を
活用しながら、都市との交流
事業をはじめ、特産物のブラ
ンド化、伝統文化の保存伝承
景観の向上、高齢者支援等、
様々な地域づくり活動を実践
しています。

集落ビジョン策定 と実践活動